

2020年度(2021年3月期) 決算の概要

2021年5月14日



目 次

I. 2020年度(2021年3月期)決算の概要	
1. 損益状況	
(1) 実質業務純益・コア業務純益	1
(2) 経常利益	2
(3) 当期純利益	3
2. 業務計数	
(1) 貸出金	4
(2) 預金等・預り資産	5
3. 不良債権	6
4. 自己資本比率	7
II. 2021年度(2022年3月期)業績予想.....	8

※本資料の前年同期比・増減率欄等の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。

I. 2020年度(2021年3月期)決算の概要

1. 損益状況

(1)実質業務純益・コア業務純益

○実質業務純益は、前年同期比5億60百万円増加し、27億17百万円。

役務取引等利益や国債等債券関係損益の増加、経費の減少などにより、前年同期比で増益となった。

○コア業務純益は、前年同期比29百万円減少し、26億34百万円。

コア業務純益の減少は、投信解約損益の減少を主因とする有価証券利息配当金の減少によるもの。

コア業務純益(除く投資信託解約損益)は、前年同期比3億48百万円増加し、19億91百万円。

(単位:百万円)

項目	2021年3月期 (A)	2020年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
実質業務純益	2,717	2,157	560
コア業務純益	2,634	2,663	△ 29
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	1,991	1,643	348

実質業務純益=業務純益+一般貸倒引当金繰入額
 コア業務純益=業務純益+一般貸倒引当金繰入額-国債等債券関係損益
 =実質業務純益-国債等債券関係損益

【実質業務純益の変動要因】

○主な増益要因

項目	2021年3月期 (A)	2020年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
国債等債券関係損益	83	△ 506	589
役務取引等利益	729	614	115
金融派生商品損益	31	△ 8	39
経費	12,608	12,960	△ 352

<参考>国債等債券関係損益の変動内訳

(単位:百万円)

項目	2021年3月期 (A)	2020年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
国債等債券関係損益	83	△ 506	589
うち国債等債券売却益	1,640	1,901	△ 261
うち国債等債券売却損(△)	589	70	519
うち国債等債券償還損(△)	968	1,412	△ 444
うち国債等債券償却(△)	-	924	△ 924

○主な減益要因

(単位:百万円)

項目	2021年3月期 (A)	2020年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
資金利益	14,465	15,005	△ 540

<参考>資金利益の変動内訳

(単位:百万円)

項目	2021年3月期 (A)	2020年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
資金利益 ①+④+⑤	14,465	15,005	△ 540
預貸差利益 ①(②-③)	10,869	10,719	150
貸出金利息 ②	11,186	11,156	30
預金等利息(※) ③	317	437	△ 120
有価証券利息配当金 ④	3,521	4,215	△ 694
うち投資信託解約損益	642	1,020	△ 378
その他 ⑤	75	71	4

(※) 預金等利息=預金利息+譲渡性預金利息

(2) 経常利益

○経常利益は、前年同期比75百万円減少し、25億12百万円。

実質与信関係費用の減少や実質業務純益の増加があったものの、株式等関係損益の減少や退職給付費用の増加などにより、前年同期比で減益となった。

(単位：百万円)			
項目	2021年3月期 (A)	2020年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
経常利益	2,512	2,587	△ 75

【経常利益の変動要因】

○主な増益要因

(単位：百万円)			
項目	2021年3月期 (A)	2020年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
実質与信関係費用	593	1,594	△ 1,001
実質業務純益	2,717	2,157	560

<参考>実質与信関係費用の変動内訳

(単位：百万円)			
項目	2021年3月期 (A)	2020年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
実質与信関係費用(①+②-③-④)	593	1,594	△ 1,001
①一般貸倒引当金繰入額	278	233	45
②不良債権処理額	690	1,560	△ 870
うち個別貸倒引当金繰入額	103	191	△ 88
うち貸出金償却	584	1,353	△ 769
③偶発損失引当金戻入益	△ 6	1	5
④償却債権取立益	△ 369	198	171

○主な減益要因

(単位：百万円)			
項目	2021年3月期 (A)	2020年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
株式等関係損益	647	2,105	△ 1,458
退職給付費用	64	△ 62	126

<参考>株式等関係損益の変動内訳

(単位：百万円)			
項目	2021年3月期 (A)	2020年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
株式等関係損益(①-②-③)	647	2,105	△ 1,458
①株式等売却益	2,304	2,475	△ 171
②株式等売却損	△ 1,630	245	1,385
③株式等償却	△ 26	124	△ 98

(3) 当期純利益

○当期純利益は、前年同期比4億19百万円増加し、15億50百万円。

【2021年3月期の損益状況（単体）】

(単位：百万円)

項 目	2021年3月期 (A)	2020年3月期 (B)	前年同期比 (A) - (B)
業務粗利益	15,326	15,117	209
コア業務粗利益	15,243	15,624	△ 381
経費	12,608	12,960	△ 352
実質業務純益	2,717	2,157	560
コア業務純益	2,634	2,663	△ 29
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	1,991	1,643	348
業務純益	2,439	1,924	515
経常利益	2,512	2,587	△ 75
(経常収益)	21,774	22,591	△ 817
(経常費用)	19,262	20,004	△ 742
特別損益	△ 207	△ 325	118
税引前当期純利益	2,304	2,262	42
税金費用	753	1,131	△ 378
当期純利益	1,550	1,131	419

コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券関係損益

コア業務純益＝業務純益－国債等債券関係損益＋一般貸倒引当金繰入額
＝コア業務粗利益－経費

2. 業務計数

(1) 貸出金

○貸出金残高は、前年同期比215億円(2.0%)増加し、1兆816億円。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けられた事業者に対する資金繰り支援に積極的に取り組み、中小企業向け貸出が増加したほか、ローン相談拠点の増設効果などにより個人向け貸出が増加した。

(単位：億円)

項目	2021年3月末 (A)	2020年3月末 (B)	前年同期比 (C) (A) - (B)	増減率 (C) / (B)
貸出金残高	10,816	10,601	215	2.0 %
うち中小企業向け貸出	4,951	4,773	178	3.7 %
うち新潟県内	3,491	3,256	235	7.2 %
うち個人向け貸出 (消費者ローン)	3,277	3,149	128	4.0 %
うち住宅ローン	3,063	2,931	132	4.5 %

(2) 預金等・預り資産

○預金等残高は、前年同期比649億円(4.7%)増加し、1兆4,279億円。

個人預金および法人預金が増加した。

○預り資産残高は、前年同期比96億円(7.3%)増加し、1,399億円。

マーケット環境に加え、マネーアドバイザーの増員等による営業態勢の強化により、投資信託が増加した。

(単位：億円)

項目	2021年3月末 (A)	2020年3月末 (B)	前年同期比 (C) (A) - (B)	増減率 (C) / (B)
預金等残高(※)	14,279	13,630	649	4.7%
うち個人	10,028	9,627	401	4.1%
うち法人	3,726	3,447	279	8.0%
うち公金	470	493	△ 23	△ 4.6%

(※) 預金等残高 = 預金残高 + 譲渡性預金残高

(単位：億円)

項目	2021年3月末 (A)	2020年3月末 (B)	前年同期比 (C) (A) - (B)	増減率 (C) / (B)
預り資産残高	1,399	1,303	96	7.3%
投資信託	446	344	102	29.6%
公共債	121	127	△ 6	△ 4.7%
生命保険	830	831	△ 1	△ 0.1%

3. 不良債権

○不良債権額(金融再生法)は、前年同期比4億円減少し、183億円。
実質破綻先債権および破綻先債権が減少した。

○不良債権比率は、前年同期比0.07ポイント低下し、1.67%。

(単位：億円)

項目		2021年3月末 (A)	2020年3月末 (B)	前年同期比 (A) - (B)
金融再生法開示債権	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	32	40	△ 8
	破綻先債権	4	5	△ 1
	実質破綻先債権	27	34	△ 7
	危険債権	149	145	4
	要管理債権	1	1	0
	小計 (A)	183	187	△ 4
	正常債権	10,787	10,533	254
	債権額合計 (B)	10,970	10,720	250
不良債権比率 (A) / (B)	1.67 %	1.74 %	△ 0.07 <small>ポイント</small>	

4. 自己資本比率

○自己資本比率は、単体が前年同期比0.11ポイント上昇し、8.94%、連結が前年同期比0.14ポイント上昇し、8.98%。

自己資本額(分子)は、利益の積上げなどにより増加した。

○単体・連結のいずれも規制値(4%)を大きく上回っており、十分な水準。

(単位：億円)

項 目		2021年3月末 (A)	2020年3月末 (B)	前年同期比 (A) - (B)
単 体	自己資本比率	8.94 %	8.83 %	0.11 <small>ポ イ ン ト</small>
	自己資本額	711	705	6
	リスク・アセット	7,956	7,988	△ 32
連 結	自己資本比率	8.98 %	8.84 %	0.14 <small>ポ イ ン ト</small>
	自己資本額	716	708	8
	リスク・アセット	7,978	8,012	△ 34

II. 2021年度(2022年3月期)業績予想

(単位：百万円)

項 目	通期 (2022年3月期)	
	連 結	
		う ち 単 体
経 常 収 益	18,880	18,530
経 常 利 益	1,660	1,610
当 期 純 利 益	1,070	1,050

※連結の当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益であります。

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。